

福成会だより

第44号

〈発行元〉

社会福祉法人 福成会

〒660-0052

尼崎市七松町3丁目17番20号

Dビル番号館101

Tel : (06) 6416-0051

Fax : (06) 6435-9630

Mail : fukuseikai@fukuseikai.or.jp

http://www.fukuseikai.or.jp/

見える化プロジェクト

～ 今年度を振り返って ～



せいりゅうえん
清流園

今年度は絵カードを使ったコミュニケーション支援に力を入れていきました。

カードを使って想いが伝わった時は、笑顔が見られる利用者もいます。これからも利用者の笑顔の為に、コミュニケーション支援を頑張っていきます。

くいせふくせいえん
杭瀬福成園

テーマは「アセスメントに基づいた支援工夫」ということで、数人の利用者をより深く知るために、チェック項目を基に評価をおこなっていきました。その評価に基づいて、支援工夫を考案し、実際の支援に取り入れていきました。評価ということをより意識できる良い機会となりました。



あいあい

今年度のあいあい見える化では「構造化」「好子・強みを取り入れた支援」

「PDCAサイクルの構築」を重点に実践し、職員間での情報共有を繰り返して、利用者の新たな発見や支援の視点を変えることでの成果を実感できました。

つかぐちふくせいえん
塚口福成園

スケジュールの更新や作成に取り組んだ1年でした。写真は、ほんの一例です。これからも一人一人に合ったスケジュールを提供できるように実践を重ねていきます。



チャレンジ・コヤリバ

コヤリバではPDCAサイクルを活用したダイエツトの支援をおこないました。ご本人に負担の掛か

らないショートゴールで目標を設定し、達成しながらモチベーションアップに繋げ、少しずつ成果も見えています。

サポートセンターまつば

自閉症支援と高齢化支援の二本軸で専門性を高めていきました。評価に基づく支援の組み立てや医師、理学療法士などとの連携など、「一人一人に合ったより良い支援を」という気持ちで、スタッフ一丸となり支援しました。



サポートセンターまつば

スヌーズレン、始めました。

11月より月に1回、「スヌーズレン」という活動を小グループで始めました。スヌーズレンとは、オランダ発祥でどんなに障害が重い方でも楽しめるように考えられた活動です。光、音、匂い、振動、温度、感覚とうを組み合わせたトータルリラクゼーションとなっています。

スヌーズレンには「静」と「動」があり、「静」は暗い部屋で光や音を楽しみ、「動」はボールプールやトランポリンなど主に体を動かします。まつばでは、「静」から始めています。部屋に入ると、普段は歩き続けている方が落ち着いてリラックスされたり、スヌーズレンの時間が終わるまで笑顔が絶えない方や、光や振動のグッズに興味を示される方がいたり、楽しみ方は利用者によってそれぞれです。

今後も新しい発見や利用者の癒しに繋がるような工夫をおこなっていきます。



新製品ができました!!

二種類の新製品の販売が開始しました。まず、さのりのコースターから紹介します。さをり作業では利用者と製作できる製品としてコースターの試作を重ねてきましたが、ついに完成しました。粘着付きコルクシートにさをり布を貼ることで利用者の製作への参加のしやすさと使いやすさを実現できました。



次にラスクですが、今まで販売していた食パンを使って甘くてサクサクの美味しいラスクが完成しました。商品はもちろん、袋に貼っているシールのデザインも利用者とスタッフ一丸となって作成し、可愛いものができました。事業所祭や近隣のバザーに出品し、大盛況です。

防犯・防災対策について

南海トラフ地震では津波被害が予想されており、現在、津波を想定した避難訓練を年に1回おこなっています。防災グッズとしては飲食物3日分、折り畳み担架、LEDランタン、防災ラジオ、ブランケットとうを備蓄庫に保管しています。

また、今年度は防犯面も強化しております。スタッフ間で防犯対策ルールの周知徹底や防犯グッズとして防犯ブザー、カラーボール、刺又とうを購入しました。

今後も防災・防犯対策を定期的に振り返り、みなさまに安心・安全に過ごしていただけるように努めていきます。



せい
清りゅう
流えん
園

ごとうほうさいくんれん 合同防災訓練

生と一緒に待機するという流れでおこないました。普段の訓練では清流園の園庭に避難しているので、いつもと違う行動に少し戸惑っている利用者も数名おられましたが、無事避難することができました。NHKの方が取材に来られ、12月16日に30分程ニュースで放映されました。

今後も地域と連携して、災害に備えていきたいとおもいます。

12月15日に清流園のお隣にある阪神昆陽高等学校と合同で防災避難訓練を実施しました。地震後に津波発生という想定で支援員と利用者は清流園から学校へ避難、高校

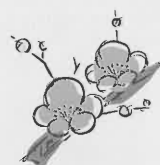


しねん かい せいじん かい 新年おめでとう会 & 成人おめでとう会

ランティアグループの「鼓勇知」さんをお迎えし、獅子舞と大太鼓を披露していただきました。利用者が実際に太鼓を叩いたり音楽に合わせて踊るプログラムもあり、みなさんとても楽しんでおられました。職員2人が扮した今年の「酉」にちなんだコスプレも笑いを誘いました。

また、清流園には今年成人を迎える山田理紗さんがおられます。家族からの手紙を読み上げ、記念品の贈呈をおこないました。

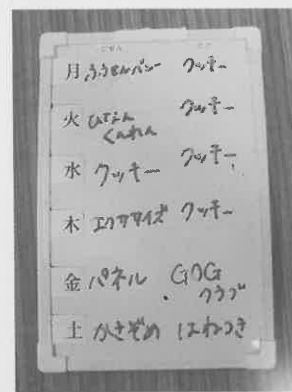
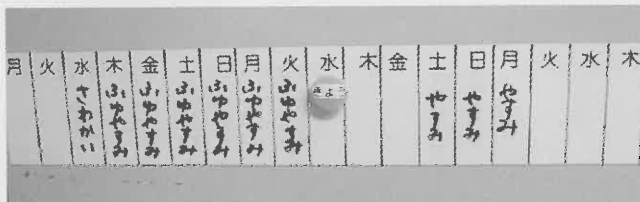
1月6日に新年&成人おめでとう会を実施しました。新年の雰囲気に合わせてボ



く い せ ふく せい えん 杭瀬福成園

み か じっせんほうこく 見える化実践報告

活動開始前に、朝の会をおこない1日の予定を文字や写真も使用しお伝えしています。なかにはその伝え方では理解しにくい方がいます。何度も予定を尋ねて落ち着かなかった方への支援を紹介します。まず始めに、どのような伝え方がその方にとって理解しやすいのかを知るために評価セッションをおこない、その結果を基にご本人専用のスケジュール表を作成しました。苦手な数字をなくし、得意な文字のみの週間、月間スケジュール表を提示し、関心のあることのみ簡潔に表示するようにはしました。スケジュールを取り入れてからは、口頭での確認が減り、スケジュール表を指差しながら一緒に確認することが習慣になっています。



さん か バザーに参加

11月26日(土)に尼崎市市制100周年記念事業「あまがさき地域福祉フェスタ」に参加しました。利用者が一生懸命、心を込めて作った製品(クッキーやさをり、染め、陶芸品とう)を販売しました。通りかかった方が立ち寄り手に取って「きれいな色合いだね～」とお褒めの言葉もいただきました。用意していたクッキーは昼過ぎには完売しました。また今後も多くの方に知っていただけるように、よりよい製品を作りみなさまにお届けできるようにしたいと思います。



なまえんそう バンド生演奏

11月26日(土)の土曜開所日にサザナミグループによる演奏会がありました。アニメや演歌、J-POP等幅広く披露してくださいました。知っている曲が流れた時には、一緒に歌ったり、生のバンド演奏に会場も盛り上がりました。年に数回ボランティアの方にお越しいただき、音楽やマジックショーとう、利用者にと楽しんでいただけるように様々な催し物を企画しています。





ちゅうしんつうしん 中心通信

1月17日(火)に小学校、保育所、地域の
方々と一緒に「1.17は忘れない」地域防
災訓練に参加させていただきました。地震が
あったことを想定し、浦風小学校まで全員で
避難をおこないました。また地震だけでなく
津波を想定し、校庭から上階への避難訓練も
おこないました。
昨年は日本各地にて大きな地震があり、いつ
起こるかわからない自然災害に対しできるこ
とは限られていると思います。今回の訓練だ
けでなく、災害
が起きたことを
想定し、いつで
も迅速に動くこ
とができるよう
になりたいです。



ぶんじょうつうしん 分場通信

～地域のこまきさ会のみなさまとの1年を振り返って～
こまきさ会のみなさまとは年5回ほど、活動を
ご一緒させていただいています。春のお花見バー
ベキューに始まり、創作活動や歌あり踊りあり
の活動など、利用者も参加しやすいように活動
内容を考えて提供してくださっています。冬か
ら春先にかけては、12月に“寄せ植え”を利
用者数名と支援員で体験させていただき、2月
には潮江分場の2階を会場として“絵本で楽し
く”というテーマで絵本の読み聞かせをしてい
ただきました。利用者も興味津々な様子で絵本
の中に吸い込まれるように聞き入っていました。
今年度も変わらず、こ
まきさ会のみなさまと
の交流を利用者・職員
一同、楽しみにしてい
ます。



新年おめでとう会 新成人おめでとう会

1月14日(土)に新成人おめでとう会・
新年おめでとう会をおこないました。今年
は分場に通所されている利用者1名が新成
人を迎えられました。新成人の方に先輩利
用者、スタッフよりお祝いの言葉をお伝え
し、記念品を手渡しさせていただきました。そ
の後はお家族からの心温まる手紙を朗読
し、あいあい全体が感動した後は、みん
なで記念撮影を撮りました。午後には新年
をお祝いということ
で正月レクリエーシ
ョンをして新年早々
みなさまが笑顔にな
れました。



すてきなクリスマス

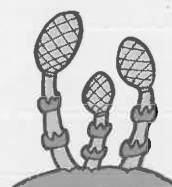
今年も淀川加工印刷
株式会社様より、利
用者一人ずつにホー
ルケーキをいただき
ました。「メリークリ
スマス」とケーキを手渡されると、「大き
いなあ」と大喜びされていました。クリ
スマス会では部屋の飾り付けとスタッフ
にも飾り付けをほどこし、「人間ツリー」
で記念写真をとりました。こまきさ会の
方々によるピアノ演奏も、クリスマス
の気分をより一層感じられるものとなり
ました。今年は地域の会長がサンタに変
装してプレゼントを渡しくださり、地
域の方との交流にもなりました。素敵な
一日に利用者もスタッフも笑顔があふれ
ました。





つか ぐち ふく せい えん

塚口福成園



みんな知ってる!? しんじん 新人スタッフの1日

▶ 9:30 利用者と一緒に朝礼をします。

朝礼ではその日の作業の流れなどをお伝えし、利用者がみんなに聞いてほしいことを紹介していきます。そして最後に一日のスタートとして、エイエイオーの掛け声で始業します。

▶ 9:30 ~ 15:15 利用者と一緒に作業をおこないます。

作業はいろいろな種類がありますが写真は車に乗って納品や缶回収に向かう様子と紙袋作業の箱詰めをおこなっている様子です。毎日みなさんと楽しく作業に取り組んでいます。

▶ 16:00 スタッフ全員で利用者の見送りをします。

1日の感謝の想いを込めて「さようなら」「お疲れさまでした」と全員に声をかけます。



ねんめ
1年目の
かんたひろき
神田洋希
です!

私は学生時代の実習を通して、塚口福成園のような職場で働きたいと思い、就職させていただきました。ですが実習とスタッフは違うもので大変だと感じる事が多くありました。そんな時、スタッフになれたからこそ感じられる人の温かさ、利用者の優しさに助けられてきました。先輩スタッフのご指導のもと知識や技術を学ばせていただき、塚口福成園の森所長をはじめ先輩スタッフの方、利用者みなさまにとっても感謝しております。これからも神田洋希をよろしく願いいたします。

こんなにきていた!?

じっしゅうせいとくしゅう

~実習生特集~

塚口では今年度も将来教師や保育士、ガイドヘルパー、市民後見人を目指されている方など約100名の実習生が来てくれました。みなさん短い期間の実習の中で多くの方とたくさんコミュニケーションをとろうと頑張っていました。実習最終日の振り返りでは、「はじめは戸惑いもあったけど、楽しくてあっという間だった。」という嬉しい意見を多く貰っています。10月におこなわれたふれあいカーニバルにもボランティアとして多くの実習生が参加してくれました。

じっしゅうたんどう 実習担当より



こんにちは!実習担当をさせていただいている高木です!私も学生時代、福成会で実習を体験しました。その時の経験をいかし、今は実習担当として実習中に出てくる悩みや疑問点はわかりやすくアドバイスすることを心がけています。実習を通して、障がいに対する理解を広げるのはもちろん、塚口の良さをこれからも伝えていければと思います。また、私や上に載っている神田支援員のように福成会での実習が就職のきっかけに繋がる方も増えればいいなと思います。



チャレンジ・コヤリバ

じりつくんれん
自立訓練メンバー

@(株)ワン・ダイニング



株式会社ワン・ダイニングのみなさま
ありがとうございました！

2月22日に自立訓練の利用者で、コヤリバから就職したOBの職場訪問をおこないました。現在自立訓練を利用されている方々は将来就職をしたという希望を持たれており、実際の就労現場を

見ることで、就職のイメージを更に深めていただくために、株式会社ワン・ダイニング様にご協力をいただき、ワンカルビ尼崎七松店へ会社見学に行きました。

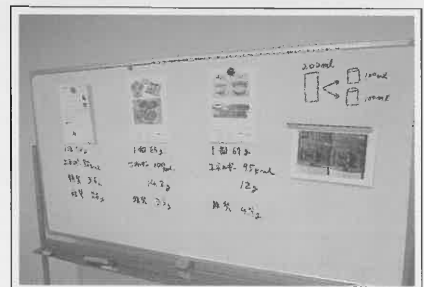


障害者雇用の担当の方に会社の説明をしていただき、コヤリバで共に訓練をした利用者が実際に働いている場面を見せていただきました。事業所では一緒に楽しく話をしていた方が就労現場では仕事に集中している姿を見て、『働くことの真剣さ』を間近で感じることができました。モチベーションアップにも繋がり、日々の訓練の中で少しずつみなさまが希望する就労に向かって私たちも一緒に頑張っていきたいと思います。

みんなで健康管理勉強会



チャレンジ・コヤリバでは月に1度希望者を募り『健康管理勉強会』をおこなっています。利用しているサービスに関係なく参加していただき、栄養士も交えて勉強会を実施しています。12月や1月などのイベントがある時は、その時期に食べるケーキやおせち料理のカロリーについて学習します。また、普段の食事で気をつけることや、食べ順ダイエットの方法について学び、みなさまと確認しながら給食で実践しています。みなさまの健康に繋がるよう、身近な『食事』の中からテーマを選び、楽しみながらプログラムをおこなっています。



グループホームをめぐって

第3回目 “こや・武庫之荘・塚口” 編

前回に続き、グループホームのトピックスをご紹介します。
今回はホーム「こや」、「武庫之荘」、「塚口」の3ホームの様子をご覧ください。

★こや★

利用者各々が目覚ましで起床され、就職されている方は8時前にはホームを出発されています。その為、ホーム近くのバス停で、朝の通勤時にスタッフと顔を合わせることがよくあります。朝の挨拶を交わしてから、それぞれの仕事先へと、毎日頑張っています。



★武庫之荘★

開所日は毎朝7時に起床です。8時前まで朝寝です。そしてスタッフが朝食のコーヒーを淹れ、トーストの準備をしていると、朝の匂いに誘われ、みなさまがリビングに集まって来られます。いつもより時間がゆっくりと感じる、休日の朝の風景です。



★塚口Ⅰ★

男性が利用されている塚口ホームⅠは、朝7時を過ぎると、スタッフが「ごはんですよ～」の呼びかけをすることもなく、目覚めている方が絶妙なタイミングで就寝中の方を起こしに回る風景が窺えます。ホームとしてのルールではありません。誰かに言われることなく、利用者みなさまの“みんなで朝食を”という気持ちを見て取ることができます。



★塚口Ⅱ★

女性が利用されている塚口ホームⅡでは、休日の昼食はスタッフではなく、利用者が用意をされています。その日の気分で近くのスーパーでお惣菜を買ったり、在り合わせの物を簡単に調理したりと、手際良く昼食を作られています。日曜日の昼間、キッチンで利用者の方が集まって昼食を盛りつけている姿は、利用者同士の繋がりの深さを感じます。



たくしゅうきじ 特集記事



11月20日、“社会福祉法人上野丘さつき会 上野丘更生寮 『収穫祭』”に、3ホーム合同で参加して来ました！農業で育てた新鮮な野菜を使ったイベント、販売、屋台がたくさん開かれた、大賑わいなお祭りでした。上野丘さつき会上野丘更生寮様、ご招待、ありがとうございました！



編集後記

今年度も残すところあと1ヵ月となりました。まだまだ寒い日が続いていますが、春はもうすぐです！！来年度もみなさまに楽しんでいただけるような福成会だよりをお届けしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

広報誌は、年4回（季刊）で、次号は5月発行予定です。

「福成会を支援する会」に入会いただく あまがさき 尼崎プロバスクラブ・琴寿会

「尼崎プロバスクラブ・琴寿会」は長寿社会における地域社会への貢献を目的に結成されている団体です。今年で創立20周年を迎えられます。創立20周年の記念事業の一つとして、福成会の事業に賛同し障害者福祉の増進に寄与することを決定され、福成会を支援する会の団体会員に加入いただきました。

福成会を支援する会事務局

・サポートセンターまつば内
あまがさきにしがすちよう ちようめ ばん ころ
尼崎市西長洲町3丁目3番6号
でんわ 電話06-6481-7959 FAX06-6481-7794